

ON THE ROAD

久留米市立屏水中学校3学年進路通信 No. 5

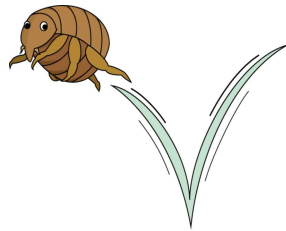
2021. 6. 1 文責 保坂圭祐

「ノミのサーカス」

昔、ヨーロッパで流行した興業に「ノミのサーカス」がありました。見物する対象が体長3mm程度の小さなノミなので、その舞台もごく小さく、机の上で行われ、観客はその周囲を取り囲む程度でした。このような曲芸団は町から町へと移動しながら興業を行い、国外にも移動し、日本には1930年に来日し福岡で興業をおこなった記録があります。その時の演目は、ノミの体重の約5倍の重さのボールを蹴らせたり、鮮やかな色紙で作った円すい形の衣装をノミにかぶせ、オルゴールの音に合わせてノミが跳びはねると衣装が踊っているように見えるダンスをさせたり、ノミにジャンプさせて小さな輪をくぐらせたりしていました。

そのようなノミを調教する時の一番の問題は、跳んで逃げないようにすることでした。ノミのジャンプ力は体長の約1,000倍で、2mくらい跳べると言われていますが、どんな方法で調教したと思いますか。それは、ただ低い透明なガラスの箱の中にノミを入れるだけでした。

狭い空間に入れられたノミは、得意のジャンプ力を活かして逃げようとするのですが、ガラスにあたって逃げるできません。これを数日間放置しておきます。すると、ノミは自分が跳べる範囲を学習し、箱にあたらぬような跳び方をします。そして、これが習慣化した「ノミ」は、自分の限界を勘違いし、ガラスの箱をはずしても同じ跳び方をして、決められた範囲内で跳び続けるようになるということです……。



自分の限界を決めつけていないだろうか？

自分を調教されたノミに置きかえて考えてみてください。ノミの本心はわかりませんが、このノミのように、これまでの経験や思い込みで“これが自分の限界なんだ……”と決めつけて行動することをやめたり、行動する前に“どうせやっても……”とあきらめたりしている自分はいませんか？

勉強に関して言えば、「勉強とは、川上に向かってボートをこぐようなもので、ボートをこぐ（＝勉強する）ことをやめてしまえば、川下に流されてしまう（＝成績がさがってしまう）」と表現した人もいました。私の経験上、「勉強が大好き！」という生徒に出会ったことはあまりないのですが、「勉強」とはそもそも中国語で「無理をすること、もともと無理なこと」という意味だそうです。買い物をする時に、店員さんが値段を安くしますという意味で、「勉強しますよ」と言いますが、その使い方が本来のものだそうです。（聞いたことがないかな……）ですから、「勉強とはきついもの」というのは、当然のことかもしれません。

先週の人権学習では、「夢をかなえるバトン」を通して、行動することの大切さを学んだり、「バトン」を受け取った人にもいるのではないのでしょうか。「今の自分をふりかえり、これからの自分の生き方を考える」ことも人権学習の意味だと思います。感想を書いたら終わりという人はいないと思いますが、学んだことを日常生活に活かしてほしいものです。



Are you ready? 試験範囲を確認し、計画的な学習を！

6月8日(火)は、到達度テストです。